



地域医療
支援病院

災害拠点
病院

地域がん
診療連携
拠点病院

患者サポートセンター広報誌

九州労災病院

九労 Kyuro Hello! ハロー

理念 地域住民と勤労者の皆様に、良質で安全な医療を提供します。

- 基本方針**
- 患者さんの権利を尊重し、患者さん中心の医療を提供します。
 - 地域医療機関との連携を重視し、中核病院として高度専門医療を担います。
 - 働く人々の健康を守り、治療と仕事の両立を支援します。
 - 患者さんに寄り添う心と、高い技能を兼ね備えた医療人を育成します。
 - 経営基盤が安定し、働き甲斐のある病院づくりを目指します。

2022.October vol.92



産婦人科部長就任のご挨拶



九州労災病院産婦人科
部長 鏡 誠治

この度 2022 年 4 月 1 日付で産婦人科部長を拝命し、就任いたしました。九州労災病院が新病院に移転時に産婦人科診療が再開された時から部長であられた土岐尚之先生の後を引き継ぐということで、身が引き締まる思いであります。

当科は昨年度においては実質 3 人体制でしたが、今年度は 1 名産休から復帰し、かつ 1 名増員されたことにより、5 人の新体制となり、さらに充実した医療の提供を行えるようになりました。

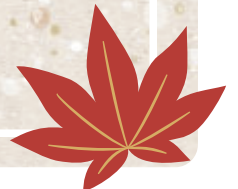
婦人科で特に力をいれていることは婦人科悪性腫瘍に対する治療と内視鏡手術（腹腔鏡下手術、子宮鏡下手術）です。

当科は日本産科婦人科学会産婦人科学会専門医 3 人を有しており、この地域での基幹病院の役割を担えるようにさらに努めてまいります。

産科では引き続き安心できる妊婦健診・分娩・産褥管理に努めてまいります。

最近の大きな問題である COVID-19 感染症合併妊婦においても近隣の周産期母子医療センターと連携しながら対応してまいります。

今後ともどうかご支援を賜りますようお願い申し上げます。



がんばって
います!
診療科紹介

産婦人科

産婦人科部長 鏡 誠治



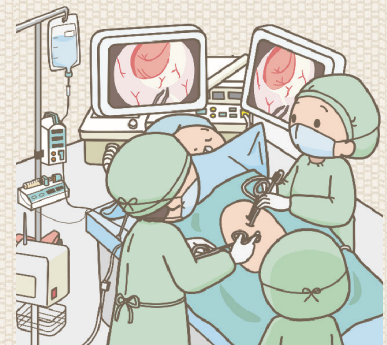
左から、土岐医師、飯尾医師、鏡部長、浦川医師、西村医師

地域の先生方には、平素より患者さんのご紹介を頂き、心より御礼申し上げます。

当科の2022年度の診療体制についてご紹介いたします。本年度から部長に鏡 誠治が就任し、土岐尚之先生、浦川瑠香先生に加えて、北島光泰先生の後任として西村和朗先生、新たに1名増員となった枠に飯尾一陽先生を迎えて、5人体制となりました。

婦人科

女性ヘルスケアから婦人科良性・悪性腫瘍まで幅広い領域に対し、診療・治療を行っております。良性卵巣腫瘍、子宮筋腫、子宮腺筋症、骨盤臓器脱、異所性妊娠などの疾患に対して積極的に腹腔鏡下手術を実施し、粘膜下子宮筋腫や子宮内膜ポリープ、子宮内膜増殖症に対して子宮鏡下手術を行っております。子宮頸部異形成や尖圭コンジローマに対するCO2レーザー手術も実施しております。過去3年(2019-2021年度)での年間平均手術数は、総数で146例、婦人科悪性腫瘍手術45例、良性疾患開腹手術34例、腹腔鏡下手術は46例、子宮鏡下手術は17例でした。



また2021年度に腹腔鏡下初期子宮体癌手術の施設認定を取得し、治療を開始しています。さらに2022年度から日本産科婦人科内視鏡学会腹腔鏡・子宮鏡技術認定医である西村先生が赴任し、骨盤臓器脱に対する腹腔鏡下仙骨腔固定術の施設認定を取得し、治療を開始しております。

腹腔鏡下手術は2022年4月から8月までの5か月間で既に38例、うち腹腔鏡下仙骨腔固定術は9例実施しており、増加しています。

婦人科悪性腫瘍については、日本婦人科腫瘍学会専門医・指導医かつ日本がん治療認定機構がん治療認定医・教育医である鏡、土岐を中心に、日本婦人科腫瘍学会のガイドラインに基づき、診断、手術、化学療法、放射線療法を実施しています。手術においては腹腔鏡下初期子宮体癌手術を新たに開始しております。化学療法については最近、分子標的薬（血管新生阻害剤、PARP阻害剤など）や免疫チェックポイント阻害剤などの新たな治療薬が保険適用となり、変化に富んでいますが、十分な説明を行った上で最新の治療の提供に努めています。点滴治療においては積極的に外来化学療法室を利用して治療を実施しています。

放射線療法については当院の放射線治療科と協力して、入院あるいは外来治療を実施しています。

ヒトパピローマウイルス（HPV）ワクチンのキャッチアップ接種（平成9年度生まれ～平成17年度生まれで過去にHPVワクチン接種をうけていない女性に対して、令和4年4月から令和7年3月の3年間、HPVワクチンを公費で接種できる）については、現在北九州市に申請中で、今年中には当科でも開始できると思います。ご希望の方は産婦人科外来に連絡をお願いいたします。

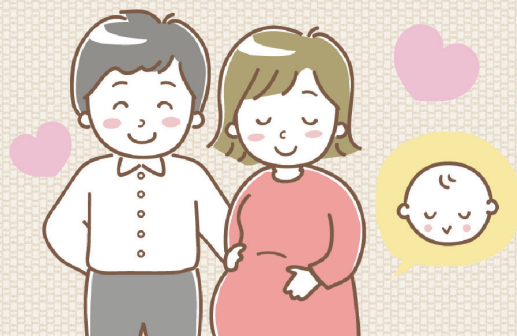
産科

正常妊娠から合併症妊娠まで幅広く診療しております。

過去3年（2019-2021年度）での妊娠22週以降の年間平均総分娩数は164例で、経陰分娩数は109例、帝王切開分娩数は56例です。最近ではCOVID-19感染症の影響のためか、やや減少傾向です。当院にNICUは設置しておりませんので、母子の状態によっては近隣の周産期母子医療センターと連携して対応しております。今後も安全で機能的な分娩取扱医療機関として、地域医療に貢献していきたいと思っております。また、助産師によるおっぱい外来（毎週月曜および木曜の午後：予約制）やファミリークラス（毎週金曜午後：予約制）も実施しておりますので、ご利用いただければと思います。

また、2022年7月から当院では北九州市産後ケア事業を開始し、現在当院で分娩された方を対象として希望者に実施しています。これを利用すると、ご希望があれば退院予定日以降も7日以内であれば低料金で入院継続も可能ですので、是非活用いただければと思います。

これからもさらに地域に貢献していきたいと思っておりますので、引き続きご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



WEB 開催

第6回 地域緩和ケアカンファレンス

皆様のご参加
お待ちしております！



「コロナ禍における
在宅医療との連携」

講師

矢津内科消化器科クリニック 院長 矢津 剛
九州労災病院 緩和ケア選任医師 友杉 隆宏

開催日

2022年10月20日(木)

九州労災病院

〒800-0296 北九州市小倉南区曾根北町1-1
TEL 093-471-1121 (代表)
ホームページ
<https://www.kyushuh.johas.go.jp>



患者サポートセンター

患者サポートセンターSTAFF

センター長 副院長 中島 信能

入退院支援部門 師長 西本 良子

社会福祉部門 M S W 坂出 友美/豊嶋 奈保子/竹中 芳美

地域連携部門 事務 山本 尚宏/福田 圭介/久保 良恵
小笠原紗彩乃/黒田 早苗/迫 やよい

お問い合わせ先

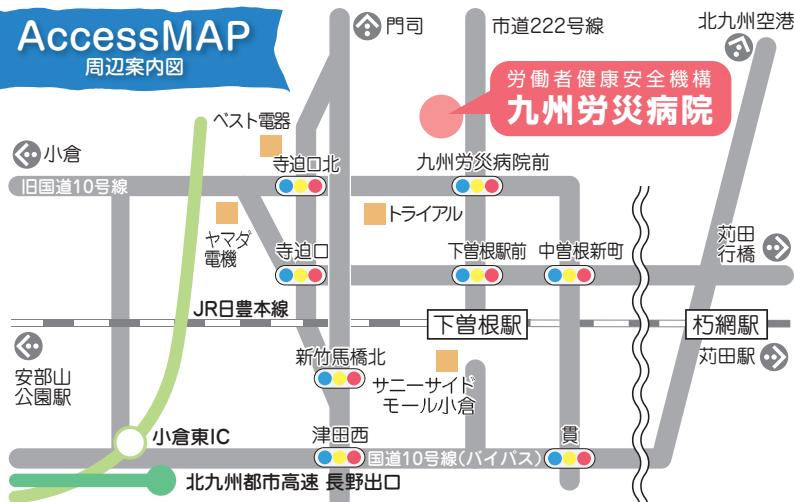
入退院支援部門 代表電話 093-471-1121
社会福祉部門

地域連携部門 直通電話 093-475-9686

F A X 093-473-5903

共通 E-mail renkei.renk-k@kyushuh.johas.go.jp

AccessMAP
周辺案内図



診療案内

受付時間 午前8時15分～午前11時

救急受付 急患は24時間随時受け付けます

診療時間 午前8時45分～午後5時15分

休診日 土曜日・日曜日・祝日
年末年始(12月29日～1月3日)

初診時 7,700円 (10月1日から)
選定療養費 診療情報提供書のご持参を
お願いしております